

ユニオンケミカル株式会社

技術力に強みを持つ

複写・印刷関連用品の老舗

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



主力製品のサーマルリボン

主な事業内容

複写関連用品、プリンターサプライ品、事務関連用品の製造・販売

主な取引先(納入先)

プリンターメーカー、文具メーカーなど

主な製品

カーボン紙、サーマルリボン、修正テープなど

業務内容 サーマルリボンの製造・販売が主力事業

ユニオンケミカルは、カーボン紙などの複写関連用品、サーマルリボンやインクジェットインクなどのプリンターサプライ品、修正テープなどの事務関連用品を設計・開発から製造・販売まで手がけている。主力はサーマルリボンで、売上高全体の6割ほどを占める。創業は明治38年と古く、株式会社化してからだけでも100年を超える歴史を持つ老舗である。創業者が汚れにくいカーボン紙を開発したのが同社の始まりで、我が国におけるカーボン紙生産のパイオニアとも言える企業だ。OA(オフィス・オートメーション)化・デジタル化の進展に伴い、取扱品目をプリンターサプライ品や事務関連用品へと拡大していった。

強み 海外拠点通じ、世界中に販売網広げる

また得意先のプリンターメーカーの英国進出に伴い、平成元年には英国に事業所を開設。これをきっかけに米国、中国などの主要国に相次ぎ販売拠点を設立し、世界中に販売網を広げている。現在、グループ全体の売上高の約半分

が、海外での売上だ。

ブレンド技術、コーティング技術、スリッティング技術に代表される。技術力の強さも同社の特徴である。ブレンドとは、色剤や溶媒などを組み合わせて顧客の満足する色を出す技術。コーティングとは、フィルムなどの表面にインクを薄く均一に塗る技術。そして、スリッティングとは、インクを塗った製品をミリ単位の幅で切る技術だ。

新展開 可食性インクジェットインクを展開

扱っている商品はほとんどが消耗品なので、「ハードが売れなければ、当社のビジネスは伸びない」と、木村栄一社長は弱点を話す。この悩みを解消するため、同社は「WOCSS」というブランド名で、自らプリンターシステムを販売する事業も始めている。

また今後伸びそうな製品が、食べられるインクジェットインク(可食性インク)である。ブレンド技術を応用して独自開発したもので、食品・医薬品の各種規格に則った原材料だけを使う。お菓子や錠剤の表面にイラストなどが印刷でき、同社はその印刷の企画・開発設計から、実際に印刷した製品の販売まで携わることが可能だ。

社長あいさつ



代表取締役社長
木村 栄一さん

紙の印刷物に関連する事業を主体としていますが、紙の需要はまだまだ続くと私は考えています。お客様のニーズをいかにキャッチするかが大切です。大手にはできない仕事はまだあります。「ひらめき」を技術で「もの」に仕上げる。この基本を大切に、これから進化し続けます。

主な保有設備

- アトライター
- 塗工機
- スリッター
- 排ガス燃焼装置
- インク自動充填機

大阪03 ISO 9001

住 所／〒573-1132
枚方市
招提田近3-10
TEL／072-856-3321
FAX／072-856-3378
創 業／明治38年2月
設 立／大正9年2月
資本金／9,000万円
従業員／117名



ガラスにも印刷が可能



可食性インクでお菓子に印刷



<https://www.union-c.com/>